



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



まだまだ猛威を振るっています！インフルエンザ

市内の各学校より、学級閉鎖の便りが多く届いています。

本校でも先週、5クラスで学級閉鎖を行いました。関係のクラスの皆様には、何かとお世話をおかけしました。今週はどの学年も、比較的落ち着きを見せています。先週は、週をまたいで、爆発的にインフルエンザが増えました。その感染力には目をみはるものがあります。

学校では、引き続き室内の換気、手洗い・うがい等の推奨を行います。ご家庭でも予防対策をお願いいたします。

朝の「ハイタッチ」から考えること

2つの門の前で、朝、私は日替わりで子供に「ハイタッチ」をして迎えます。ほんの一瞬ですが、子供とのかかわり・つながりができていることを感じます。子供たちは、その日により、タッチの仕方や表情が異なります。朝、家で何かあったかな、何だかいらいらしているな、今日は遅刻しなかったよ、と言わんばかりに、にっこりとして校門に入る子供、等々

文部科学省は、2005年10月の検討委員会において、「今日的な社会問題は『心の問題』』としています。また、子供の人間関係や社会的適応能力の育成のために、養育者による適切な“愛着”形成が必要と結論づけています。

私は、子供は愛されて育つ（愛着）、子供は愛されていると信じていけば、どんなことがあるだろうとも大人への信頼関係は失われることはないと思います。普段の何気ない会話、寝る前の読み聞かせ、食事での一日の出来事紹介等、様々なかかわりが家庭にはあると思います。そのかかわりが、愛着の形成につながると思います。

また、子供が困ったり、悩んだりしたとき、何も言わずただ抱きしめてあげる、このような行為も愛着が形成される、子供との関係が一つの方法ではないでしょうか。

教育は「響育」、響きあいながら、育まれていくものと思います。



*愛着とは：ある特定の対象との間に形成された愛情の絆で、時間・空間を隔てても永続的に持続する結びつき

